

2019 年度 歴史文化資料保全首都圏大学協議会 開催報告

開催概要：

2018 年度より推進している「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」では、各地で歴史文化資料保全を推進する大学や関連機関との連携構築を通じて、資料調査や保存研究、データ記録化や相互支援体制の確立などの取り組みを目指しています。

この事業の一環として、首都圏地域における資料保全の連携体制を構築するために、2020 年 1 月 20 日に「歴史文化資料保全首都圏大学協議会」を開催しました。

最初の協議会となった今回は、資料の所在把握に向けた取り組みを軸に各地の現状と課題を共有し、各所で蓄積された資料所在情報を活用した調査活動の展望について議論が交わされました。また、活動を展開する際の行政との関わり方や、国立文化財機構が推進する「文化財防災ネットワーク推進事業」との連携などについても焦点が当てられました。協議会のなかでは、資料を取り巻く状況に関する大都市圏という特殊性も議論が及び、首都圏の特性に応じたネットワーク構築の必要性が指摘されました。

今後、本協議会では、データベースなどの相互利用を含む活動や、学生や地域の人びととの連携を広げるための協議などを始め、各種の課題を共有しつつ、首都圏における資料保全を促進するためのネットワーク構築に向けて、持続的に協議を進めていく予定です。



日時：2020 年 1 月 20 日（月）13:00～17:00

会場：千葉大学教育学部 4 号館 4105 教室（千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33）

主催：人間文化研究機構「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」

プログラム：

- 開会挨拶：佐藤信（人間文化研究機構理事）
- 趣旨説明：天野真志（国立歴史民俗博物館）
- 報告 1：「国文学研究資料館史料所在情報データベースの展開と課題」：
西村慎太郎（国文学研究資料館）
- 報告 2：「神奈川における地域資料保全をめぐる連携について」
多和田雅保（横浜国立大学）
- 報告 3：「千葉県における資料保存・災害対応とその課題」
小関悠一郎（千葉大学）
- 報告 4：「多摩における資料保存のこれまでとこれから」
宮間純一（中央大学）
- 討論 司会：天野真志（国立歴史民俗博物館）
- 総括：久留島浩（国立歴史民俗博物館）